

# 河川の樹林化とは何か

～ 樹林化現象の統合理解と今後の河川流域管理にむけて ～

日時:平成24年11月22日(木) 13:00 ～

場所:神戸大学瀧川記念学術交流会館 (裏面参照)

主催:(社)土木学会 水工学委員会 環境水理部会・河川部会

## 趣 旨 :

礫河原において経年進行する河道の樹林化は、河川を管理するうえでさまざまな問題を引き起こします。洪水流下能力の低下、砂州生態系の変質、下流での流木被害などはその代表例でしょう。この過剰な樹木繁茂へ至るメカニズムは、土砂動態の観点からは礫床への細砂堆積、草本の侵入、木本への遷移とシナリオが整理されています。しかしながら、その原因は対象とする流域や河道によって諸説さまざまです。上流ダムによる洪水規模や土砂量の減少、河川改修・砂利採取による滞筋の固定化と砂州比高の拡大、河道の富栄養化の進行などが例示されますが、樹林化の統一的な現象理解はなされておらず、抜本的な問題解決には至っていません。

一方、この問題解決の糸口のひとつには、河川流域における水・エネルギー・物質の循環と生態系代謝の観点からの考察が重要と考えられます。これは、上述の原因例示からも推し量られると思われませんが、上流域でのさまざまな環境インパクトが河川ネットワークの繋がりを介して下流の河道環境を規定するためです。しかしながら、この流域一貫の観点からのアプローチについても、現状では得られる学術知見は限られるようです。

本ワークショップでは、プログラムに挙げる6篇の研究事例を中心に、河川植生・樹林化現象の研究史を振り返るとともに、これまでに得られた主な学術成果と現在の研究トレンドをとりまとめ、未解決課題の洗い出しを試みます。特に、河川地先における河道設計と流域一貫の環境管理の対軸をもとに問題を整理しながら、今後の研究・技術開発のあるべき方向を議論します。

※ お申し込み：お名前・ご所属を明記の上、件名を【ジョイントワークショップ】として**下記のメールアドレスに11月15日までにお申し込み**ください。なお、定員(100名)になり次第、受付を終了させていただきます。

※ お申し込み・お問い合わせメールアドレス：[jworkshop@dolphin.kobe-u.ac.jp](mailto:jworkshop@dolphin.kobe-u.ac.jp)

※ オーガナイザー：(社)土木学会 水工学委員会

環境水理部会 宮本仁志(神戸大学)・赤松良久(山口大学)

河川部会 戸田祐嗣(名古屋大学)・知花武佳(東京大学)

# プログラム :

- 13 : 00~13 : 05 : 開会の挨拶 河川部会長 泉 典洋(北海道大学)
- 13 : 05~13 : 20 : 趣旨説明 宮本仁志(神戸大学)
- 13 : 20~14 : 40 : 【セッション①河川からみた樹林化】 司会 : 戸田祐嗣(名古屋大学)
- ・ 河川技術に関するシンポジウムOPS「河道の植生管理に関する技術の課題」の紹介 戸田祐嗣(名古屋大学)
  - ・ 樹林化過程における河道地形変化, 土砂動態, 洪水攪乱, 生物過程の絡まり合い方と河道設計への道のりー多摩川永田地区研究から学んだことを起点にー 藤田光一(国土交通省)
  - ・ 河川樹林化の実態と対策 大石哲也(土木研究所)
  - ・ 砂州上の草本・木本の破壊・流失限界と土砂堆積特性に基づく植生動態予測の可能性 田中規夫(埼玉大学)
- 14 : 50~16 : 10 : 【セッション②流域からみた樹林化】 司会 : 重枝未玲(九州工業大学)
- ・ 砂州の富栄養化現象と植生遷移/樹林化ー栄養塩循環とその管理ー 浅枝 隆(埼玉大学)
  - ・ 砂州の安定化と樹林化ー相互作用系としてのプロセスと影響ー 鎌田磨人(徳島大学)
  - ・ 河川流域のメタボリズムー河川水系における樹林化傾向の確率診断ー 宮本仁志(神戸大学)
- 16 : 20~17 : 20 : 【総合討論】 司会 : 赤松良久(山口大学)
- 17 : 20~17 : 25 : 閉会の挨拶 環境水理部会長 二瓶泰雄(東京理科大学)
- 17 : 30~19 : 00 : 懇親会 (瀧川記念学術交流会館 1F 食堂)

定員 : 100名

参加費 : 1,000円 (資料代金を含む)

会場案内 : 神戸大学瀧川記念学術交流会館  
(神戸市灘区六甲台町1-1)

徒歩 : 阪急「六甲」駅から約15~20分

バス : 阪神「御影」駅、JR「六甲道」駅、  
阪急「六甲」駅から、神戸市バス36  
系統鶴甲団地行きもしくは鶴甲2丁  
目止まり行きに乗車。「神大文理  
農学部前」で下車。

神戸大学六甲台第2キャンパス :

<http://www.kobe-u.ac.jp/guid/access/rokko/rokkodai-dai2.html>



瀧川記念学術交流会館